

職員インタビュー #1

酒巻さん

子どもも職員同士もお互いにサポートし合えるあたたかい場所



Q 自己紹介をお願いします

酒巻（さかまき）です。新卒で入社して、3年目です。ホーム職員として子どもたちと一緒に生活をしています。

Q 児童養護施設に興味を持ったきっかけは？

元々は保育園が大好きすぎて、保育士になりたいと思っていました。中学の時に夕方のニュースで児童養護施設の特集を見て、施設で暮らしている子どもたちのために何か自分にできることはないかと思ったことと、子どもたちが自分の意見を主張する場があると良いなと思っていました。その後、児童指導員の資格が取れる専門学校に入り、実習で自分は年齢が高い子どもの方が合っていると感じ、児童養護施設に入りました。

Q 晴香園で働こうと思った決め手は？

家が近かったというのがあります（笑）他の施設も見学に行きましたが、晴香園は男女の異年齢混合で、本当の家族のように過ごしているところが魅力的でした。また、ここでは「ドリームチャレンジ」という子どもがやりたいことをプレゼンしてOKが出ると夢が叶うという企画があって、施設だからできないではなく、子どものやりたいことをやらせてあげることができるのが素敵だなと思いました。

Q 晴香園で働き始めた頃の様子はどうな感じでしたか？

最初は不安でした。新しい所が得意ではなく、子どもにも嫌な気持ちをさせたらどうしようと思っていました。でも、研修で「失敗するのは当たり前、皆が支えるから、大丈夫！」という言葉や、何でも聞きやすく相談しやすい環境で、口だけではないサポートを実感し、安心しました。また、自分の素直な気持ちを全て否定せず受けとめてもらえた上で指導してもらい、愚痴も言っていいと言ってもらえたことが嬉しかったです。同期と話す時間も勤務時間中に設けてもらえたので、頑張りやすかったです。



先輩職員と一緒に

Q この仕事のやりがいについて教えてください。

「子どもにしたことは10年先に結果がでる」と研修で言われたとおり、今やっていることは将来的に結果が出ると感じています。自分なりに、一人一人に合った寄り添い方ができるように考えているのですが、ある子が卒園の時に、ドリームチャレンジで私との思い出旅行の計画を立ててくれて、すごく嬉しかったです！この仕事をやっていて良かったと感じました。

Q 今までで一番印象に残っている子どもとのエピソードを教えてください

最近、子どもたちに「まき」って呼ばれているんです（笑）「まきのごはんが一番美味しいよ〜」とか、「まきが一番好き」「まきと一緒にいて楽しい」と言葉にしてくれたり、さりげない一言がすごく嬉しいですね。自分の気持ちが伝わっているんだなと実感しました。



晴香園のホームでみんなでゲームをしている様子

Q ぜひ知って欲しい晴香園の良いところは？

サポートや研修がとても充実しています。外部の心理専門の先生と相談できたりなど、学びを深められるのが良いなと思っています。また、女性が多い職場は難しいのかなと思っていましたが（笑）嫌な感じはなく、個性があって、にぎやかで、本当に面白くて楽しいです。最初は緊張するけど、入ってみたら色んな人が声をかけてくれて、アットホームであたたかいです！

Q 最後に就職を考えている方に一言メッセージをお願いします。

自分が入る時は「大丈夫かな…」と不安でしたが、子どもに対する愛情と人を思いやる気持ちがあれば、大丈夫です。家事や料理ができなくても子どもと一緒にやりながら、できるようになります。自分のできることに目を向けて、自分の良いところを活かせるし、1つできれば子どもは気づいてくれて、支えてくれます。自分の姿勢がそのまま返ってくるのでやりがいを感じますよ。

職員インタビュー #2

主任 増子さん

子どもの成長が嬉しいのもそうですし、日々ただ傍にいただけでもやりがいを感じられる仕事だなと思います。



Q 自己紹介をお願いします

主任の増子（ますこ）です。

家庭支援専門相談員、ホームの職員、そして後援会の事務局もしています。何足ものわらじを履いています（笑）入職して15年になります。その間、2回産休、育休を貰っているので、実質13年くらいですかね。

Q 児童養護施設に興味を持ったきっかけは？

大学でボランティアをする課題があり、千葉県の児童養護施設に行きました。保育士か幼稚園教諭を目指していたのですが、最終的に児童養護施設に

入職しました。365日、朝から晩まで、楽しいことも大変なことも一緒に経験したかったのです。

Q 晴香園で働こうと思った決め手は？

15年前に小舎制に取り組んでいた先駆的な施設だったので決めました。必要だと言われていても、大舎制から小舎制になかなか移らなかった中で、晴香園は15年前から取り組んでいたのです。

※「大舎」：1舎当たり定員数が20人以上、「小舎」：同12人以下。子どもの養育にはより小規模で家庭的な形が望ましいとの考え方から、近年は国の後押しもあり、施設の小規模化が進んできています。かつてはほとんどの施設が大舎制でした。



晴香園のホーム内リビング

Q 晴香園で働き始めた頃の様子はどうな感じでしたか？

大変でした（笑）けれど、楽しかったです。一緒に公園に行く、一緒にテレビをみる、そんな当たり前の日常が仕事になる。何より子どもたちが必要としてくれて、子どもたちのために働けている実感がある。

子どもたちから「帰らないで～」と言われると、それを振り切って帰らないといけないのが最初はつらかったです。あとは、何が正解かわからない中での葛藤がありました。

Q この仕事のやりがいについて教えてください。

子どもに寄り添って一喜一憂できること。子どもの成長が嬉しいのもそうですし、日々ただ傍にいてもやりがいを感じられる仕事だなと思います。

Q 今までで一番印象に残っている子どもとのエピソードを教えてください

日々小さなことで嬉しくなります。「ありがとう」「おいしい」「さすが、良くわかってくれている」そういった言葉をもらったり、相談してくれることも嬉しいです。

また、今年、卒園生の結婚式に招待されたことはとても嬉しかったです。入園した時からよく知っている子だったので。



晴香園のホーム内にて

Q ぜひ知って欲しい晴香園の良いところは？

自由度が高く多様性を認め合える文化があります。裁量も大きく、働き方も柔軟です。子どもの大学や専門学校への進学率も高く、幅広い選択肢を与えることができます。

晴香園では、各ホームで職員が子どもたちの食事を調理します。当たり前の生活を当たり前で送れる施設です。塾や習い事にも行けるし、成人したから卒園させるのではなく、自立の準備が整うまで施設で暮らすことができます。学校に行きたくないと言えば休むこともできる。一般家庭と同じ生活を送ってもらうことができます。

また、新しいアイデアを実行すること大歓迎です！例えば、花火大会や映画会をしたいという企画が子どもや職員から出た時に、すぐに実現することができます。新しいことを始めるハードルが低く、やってみたいと思ったことを、誰でもチャレンジしやすい環境です。

Q 最後に就職を考えている方に一言メッセージをお願いします。

もし、「自分なんかが施設で働いても大丈夫かな…」と不安から応募をためらっている方がいたら、「大丈夫！ぜひきてください」とお伝えしたいです。

晴香園では、職員たちが日々支え合って働いているので、子どもたちのために働きたいという方は、ぜひお待ちしております！共に支え合ってがんばりましょう！

職員インタビュー #3

施設長 宮田さん

「晴香園が大事にしていることは、子どもと一緒に考え、悩み、行動していくことです」



Q 自己紹介をお願いします

施設長の宮田（みやた）です。
入職して16年目になります。

Q 児童養護施設に興味を持ったきっかけは？

私には年の離れた弟と妹がいて、小さい時から兄弟のお世話をしてきました。親たちからもてはやされ、子どものお世話が得意な気になったんだと思います。きっとそれがきっかけで子どもに関わる仕事に就こうと決めたのだと思います。

大学卒業後は学童保育の指導員として4年間働いていました。午後からの勤務だったこともあり、他の仕事を探していた時に、福祉就職フェアに出展していた晴香園に出会いました。最初は児童養護施設で働きたいというよりは、資格を使って子どもと関わる仕事をしたいと思っていました。晴香園に応募したら採用され、ご縁をいただき今に至ります。

Q 晴香園で働き始めた頃の様子はどうな感じでしたか？

前職でも子どもと接する仕事をしていたのですが、その経験を活かすというよりは、ニュートラルな気持ちで仕事に取り組むことを意識していました。

大学では社会的養護に特化して学んだわけではないので、変な先入観は持たずに仕事に取り組めたのが良かったのかもしれないです。

最近実習生と関わると、「晴香園は明るいですね。児童養護施設はもっと暗いのかと思っていました」と言われることもあり、社会的養護の偏った情報が入っているなと感じることがあります。子どもたちはとても人懐っこくて、私のことをすぐに受け入れてくれました。

絵を描くことが好きなので、子どもに絵を見せたら、「上手だね。もっと描いてよ！」と言われ、特技を活かしたことも良かったです。



Q この仕事のやりがいについて教えてください。

答えは見えないし、出ないので、悩むことも多いですが、ふとした瞬間に、子どもの成長を感じるがあります。子どもの言葉や行動に救われることがあります。成長を感じられた時というのは、やっていた良かったなと思います。生活を共にすることができるのがやりがいだと思います。自身の生活もあるので常に傍に居られるわけではないですが、子どもの成長を見られることがこの仕事の醍醐味とやりがいだと思います。

Q 今までで一番印象に残っている子どもとのエピソードを教えてください

施設の子どもには、卒園していく子と家庭復帰する子がいます。小学校高学年の時に家庭復帰した子がいて、その後音沙汰がなかったのですが、その子が高校生になった頃に急に施設に来てくれたことがあり、成長して大きくなっていて驚きました。さらに、コンビニで買ったアイスやジュースを買ってきて「みんなで食べて」と持ってきてくれて、成長したなあ！と感じました。

また、中学生の多感な時期に担当していた女の子がいて、その時は「何でいるの」と言われたこともありました。卒園して数年後に顔を出してくれた時に、とげとげした感じはすっかり抜けていて、大人になっていました。成長した姿をみて、一番難しかった時に一緒にいて寄り添っていた時間は無駄ではなかったと感じました。



Q ぜひ知って欲しい晴香園の良いところは？

晴香園が大事にしていることは、子どもと一緒に考え、悩み、行動していくことです。

また、掲げている目標は、子どもが社会に出た時に自分の人生を楽しめること。また、自分から進んで挨拶をしたり、「ありがとう」や「ごめんね」と言える力を身につけたり、困ったときに助けを求めていけるようにすることです。それぞれの職員が自分の強みを持ち寄り、互いに補い合いながら子どもたちを支えているところが晴香園の強みです。

Q 最後に就職を考えている方に一言メッセージをお願いします。

まず「児童養護施設ってどんなところなのか」というのを広く知ってもらいたいです。施設について知ってもらうことで、「こういう子どもとの関わり方があるのか」とか、「こういうこともできるんだ」という新しい発見に繋がったり、「自分の力が活かせるかもしれない」と考えるきっかけができると思います。情報がないと一歩を踏み出すこともできないと思うので、晴香園や他の施設でも良いので、まずは児童養護施設について知ってもらいたいです。

晴香園で私たちと一緒に、ぜひ、児童養護施設はこんなところなんだよという現場の様子を発信していきませんか？ご自身が発信することで社会の理解は深まっていくと思います。ぜひ力を貸してください。